

- 問1 北海道の工業は、広大な農地で生産された農産物や、豊かな海でとれた水産物を原料とする分野が盛んです。2010年の製造品出荷額の内訳において、金属工業（13.9%）や化学工業（21.1%）を上回り、35.7%を占めて最大部門となっている工業の種類として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 機械工業 | 2. 金属工業 | 3. 食品工業 | 4. 化学工業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問2 本州の最北端に位置し、北海道の松前半島付近から津軽海峡の海底を通る青函トンネルによって、北海道と陸路で結ばれている県はどこですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 秋田県 | 2. 山形県 | 3. 岩手県 | 4. 青森県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 北海道西部に位置する石狩平野は、かつて植物の遺体が十分に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地帯が広がっており、農業には不向きな土地でした。この地域において、他の土地から土を運び入れる「客土」などの土地改良が行われた結果、現在ではどのような農業が盛んに行われていますか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 大規模な機械化による水田稲作 | 2. 根柵台地で主流となっている大規模な酪農 | 3. 十勝平野で見られるような大規模な畑作 | 4. 冷涼な気候を活かしたリンゴなどの果樹栽培 |
|-------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|
- 問4 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。 | 2. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。 | 3. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。 | 4. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。 |
|---|--|--|--|
- 問5 石狩川流域では、かつて植物が完全に分解されずに堆積した「泥炭地」と呼ばれる湿地が広がっていました。この土地を大規模に開発し、農地や市街地として利用するために行われた工夫として、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 大規模な植林を行い、地中の水分を吸収させて森林面積を拡大させる | 2. 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う | 3. 地面の下にある岩盤を削り、土地を平坦にしてから地下水を注入する | 4. 周辺の山々から大量の水を流し込み、人工的な湖を作って水運を盛んにする |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 夏の北海道東部の太平洋沿岸では、濃霧（海霧）が発生しやすいため、8月の日照時間が約127時間にとどまる釧路のように、札幌（約171時間）と比較して日差しが遮られる傾向があります。この濃霧を発生させる要因となる、北海道の東側を南下する寒流の名称を次の中から選びなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------------|----------|-------------|
| 1. 対馬海流 | 2. 千島海流（親潮） | 3. リマン海流 | 4. 日本海流（黒潮） |
|---------|-------------|----------|-------------|
- 問7 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。（2025年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから | 2. 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから | 3. 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから | 4. 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから |
|--|---|--|---|
- 問8 北海道における外国人宿泊客数の月別統計を見ると、1月から3月にかけての時期に数値が大きく上昇するという特色があります。この時期に観光客が多く訪れる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 秋の紅葉シーズンに合わせ、新幹線を利用して広大な農地の収穫風景を見学に来るため。 | 2. 本州よりも早く開花するサクラの鑑賞や、春の大型連休を利用した旅行者が増えるため。 | 3. パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。 | 4. 梅雨がなく、ラベンダーなどの花々が満開になる夏の涼しい気候を避暑目的で好むため。 |
|---|---|---|---|
- 問9 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。 | 2. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。 | 3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 | 4. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。 |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
- 問10 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。（2022年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 干拓 | 2. 輪作 | 3. 客土 | 4. 段々畑の造成 |
|-------|-------|-------|-----------|
- 問11 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため | 2. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため | 3. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため | 4. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため |
|--|--|---|---|
- 問12 北海道の石狩平野において、かつて広範囲にわたって見られた、水分を多く含み植物の遺体が分解されずに積み重なってできた土地を何といいますか。この土地はもともと農業には適さない湿地帯でしたが、客土などの土地改良により現在は大規模な稲作地帯となっています。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|-----------|----------|
| 1. 干拓地 | 2. 泥炭地 | 3. カルスト地形 | 4. シラス台地 |
|--------|--------|-----------|----------|
- 問13 北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから | 2. 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから | 3. 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから | 4. 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 食品工業	北海道では、大規模な経営が行われている農業や盛んな漁業によって得られた豊富な産物を活用した工業が発達しています。他の地方に比べて、地元の農産物や水産物を加工して出荷する食品工業の割合が非常に高いのが特徴です。
問2	答え 4 青森県	本州と北海道の間にある津軽海峡には、世界最長の海底トンネルの一つである青函トンネルが通っています。このトンネルは青森県と北海道を結んでおり、新幹線や貨物列車が走行することで、天候に左右されない安定した輸送ルートとしての役割を果たしています。
問3	答え 1 大規模な機械化による水田稲作	石狩川の下流に広がる石狩平野は、もともとは水分を多く含み農耕に適さない泥炭地でした。明治時代以降、排水路の整備や客土といった大規模な土地改良事業が進められたことで、日本有数の米の生産量を誇る水田地帯へと生まれ変わりました。北海道東部の十勝平野が畑作、根釧台地が酪農の中心である点と区別する必要があります。
問4	答え 3 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。	札幌は1869年に設置された開拓使によって、何も無い原野から計画的に建設された人工的な都市です。アメリカの都市計画や京都の条坊制を参考に、行政機能や居住区を効率的に配置し、交通の利便性を高める目的で格子状の街路が導入されました。これは、古い歴史を持つ都市が地形や防御上の理由から不規則な街路を持つことが多いのと対照的です。
問5	答え 2 排水路を整備して水を抜き、別の場所から土を運び入れる客土を行う	石狩川流域に広がる泥炭地は、水分が非常に多く農業には適さない土地でした。そのため、開拓にあたっては排水路を設けて湿地の水を抜くだけでなく、他の場所から性質の異なる土を運び入れる「客土（かくど）」という作業が行われました。これにより、もともとの泥炭地は稲作などが可能な広大な農地や、人々が暮らす市街地へと作り替えられました。
問6	答え 2 千島海流（親潮）	北海道の東側の太平洋岸には、北の千島列島方面から冷たい海水が流れてくる寒流の千島海流（親潮）が通っています。夏の湿った空気がこの冷たい海面によって冷やされることで水蒸気が凝結し、大規模な濃霧が発生します。これにより、釧路などの地域では夏の日照時間が短くなります。
問7	答え 1 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから	北海道東部の太平洋側は、夏に寒流である親潮（千島海流）の影響を受けて濃霧（海霧）が発生しやすく、日照時間が不足しがちで気温も低くなります。この気候条件は稲作や畑作には不向きですが、牧草の生育には適しているため、広い土地を生かした酪農が定着しました。
問8	答え 3 パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。	北海道の観光は、かつては夏が主流でしたが、近年は東アジアなどの雪が少ない地域から、良質な雪（パウダースノー）を求めて冬に訪れる外国人が急増しています。1月から3月はスキーやスノーボードといったウィンタースポーツに加え、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントが充実しているため、宿泊客数が多くなる傾向にあります。
問9	答え 4 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問10	答え 3 客土	石狩平野などに広がる泥炭地は、水はけが悪く地盤も軟弱であったため、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、他の場所から肥えた土や粘土質の土を運び込む「客土」という大規模な土地改良が行われました。この努力によって、北海道は日本有数の稲作地帯へと発展しました。干拓は海や湖を仕切って水を出し陸地化すること、輪作は同じ土地で時期をずらして異なる農作物を育てることを指します。
問11	答え 2 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため	北海道は日本の総面積の約22%を占めるほど広大であり、札幌や函館、旭川、釧路といった主要都市間の距離が非常に離れています。そのため、移動時間を短縮し、迅速な物流や人流を確保するために、道内各地に多くの空港が整備されました。また、2016年には北海道新幹線が開通したことで、現在は空路だけでなく、新幹線による陸路での本州との接続も強化されています。
問12	答え 2 泥炭地	石狩川流域に広がる石狩平野の低地には、寒冷な気候により植物が完全に分解されず、炭化した状態で堆積した「泥炭地」が広く分布していました。この土地は非常に水はけが悪く、酸性度も高いため農業には不向きでしたが、明治時代以降、大規模な排水路の整備や、外部から良質な土を運び入れる「客土（きゃくど）」といった土地改良を行うことで、日本を代表する稲作地帯へと変貌を遂げました。
問13	答え 2 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから	太平洋側の根室は、夏に千島海流などの寒流と南東からの季節風の影響で気温が低く抑えられます。一方、日本海側の札幌は、冬に対馬海流などの暖流の上を通る北西の季節風の影響を受けるため、降雪量が多くなります。